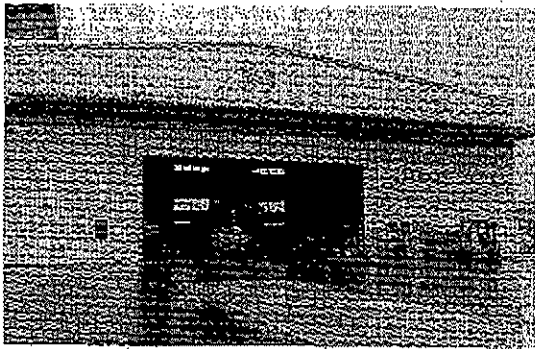


物
ン
エ
コ
マ
ー
ク
ア
ワ
ー
ド
で
跟
賞

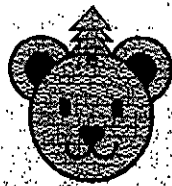
顧客登録数2万件を突破

古紙の無料回収サービスで

寺松商店



同社の久留米営業所



エコシマのロゴマーク

古紙問屋の寺松商店(福岡県久留米市、寺松西雄社長)が展開するリサイクル資源無料回収サービス「エコシマ」の顧客登録件数が2万件を突破した。

4・5・4・5
4)やウエブサイトで依頼を受け付け、専用回収車で家庭や事業所先まで引き取りに行くというもの。各地域の巡回中の引き取りも可。回収対象物は、段ボール・新聞・雑誌等の古紙類

家庭や事業所から出る古紙やPETボトル、空き缶など資源物の小口回収を専用車両で行うもので、顧客の利便性向上や回収量の拡大につなげている。同サービスは、福岡都市圏を中心とした北九州地域で展開。回収の流れは、コールセンター(0120・9

4・5・4・5)やウエブサイトで依頼を受け付け、専用回収車で家庭や事業所先まで引き取りに行くというもの。各地域の巡回中の引き取りも可。回収対象物は、段ボール・新聞・雑誌等の古紙類

「エコシマ」の目として、毎月1回決まった日に回収する定期無料回収も実施し、古布・古着類の回収にも対応する。一定量の古紙を出した顧客には、季節ごとの植物の種をプレゼントする等の特典もある。また、集団回収(廃品回収)サポートや機密文書出張裁断・電子データ消去(有料)など、多様なサービスを提供することによって、顧客の利便性を高めている。

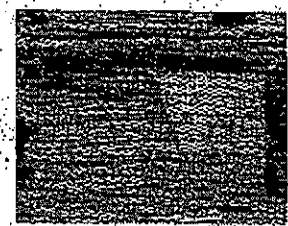
同社は1993年に創業以来、製紙原料古紙の架荷網を拡大し、九州各県と山口県、沖縄県にネットワークを構築した。戦後、米国の輸入を行う中で貿易のノウハウを蓄積し、海外輸出もいち早く開始。独自のコンテナ管理システムの開発・運用など、国際商品としての品質向上を図っている。

同社・寺松一寿専務は「書類の電子化が進み古紙発生量が減ったといっても、日本は世界トップクラスの古紙リサイクル率を誇っており、決して悲観することはない。新しいサービスの提案など、市場拡大に向け、まだまだできることがある。今後さらに経営の質を高め、業界の社会的地位の向上に貢献できる会社を目指している」と話している。

プラスチック。紙。容器包装



原料の質と量、処理費も違う



産業と暮

産業と暮

RPF

RPF(廃プラスチック類や紙くず、織物くず、木くずなど)をつくる固形燃料(燃料)にかかわる事業環境は全く異なる。原料となる産業廃棄物の種類も違う。排出事業者から受け取る処理料金にも結構地域差があり、例えば福岡の場合、RPFなどは倍々高いの。前者ならばRPF事業が成り立つが同業間の競争は激

環境改善努力による持続可能な社会の形成に向けて積極的に活動

を表彰する制度。一度は、金賞1社、銀賞3社、銅賞3社、マンダ印ルカで